

対象校No. 937

注4

学校コード F128310108856

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

甲子園大学 栄養学部 食創造学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人甲子園学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 企画調整室

職名・氏名 キカクチョウセイシヨウヒヤマ ミチノリ
企画調整室長 檜山 道成

電話番号 0797-87-5111

(夜間)

e-mail kaikaku@koshien.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

栄養学部

＜食創造学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人甲子園学院

(2) 大学名

甲子園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒665-0006
兵庫県宝塚市紅葉ガ丘10番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クメ トモコ) 久米 知子 (平成17年2月)		
学長	(サクマ ハルオ) 佐久間 春夫 (令和2年4月)	(フシキ トオル) 伏木 亨 (令和5年4月)	(5) 前学長の任期満了に伴う学長交代による。
学部長	(テラジマ マサヨ) 寺嶋 昌代 (令和2年4月)	(カメオ サトミ) 亀尾 聡美 (令和5年4月)	(5) 前学部長の副学長昇任人事による交代。
学科長等	(オオハシ テツヤ) 大橋 哲也 (令和5年4月)	(カマサカ ヒロシ) 釜阪 寛 (令和6年4月)	(6) 前学科長の交代による。

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学生員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位「大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人入学生を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員		
栄養学部 食創造学科 学士(食創造学)	家政関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	收容定員 充足率	收容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80人 () []	-	80人 () []	人 () []	-	0.20倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	27 []	() []	15 []	() []	-			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	27 []	() []	14 []	() []	-			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	24 []	() []	12 []	() []	-			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	22 []	() []	10 []	() []	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.27	-	0.12	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合は、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「收容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の收容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33收容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の收容定員充足率を記載してください。
 ・ 「收容定員充足率(控除後)」には、「收容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「收容定員充足率」を記入してください。なお、「收容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「收容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	10	-	
2年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	
3年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	32	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ ()内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	22 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	32 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<栄養学部 食創造学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合 教養 科目	基礎演習科目 基礎セミナー	1通	2			1						兼1	
	人文科学系列	歴史学	1前	2									兼1
		文学概論	1前	2									兼1
		文学特論	1後	2									兼1
		日本語表現	1前	2									兼1
		哲学	1前	2			1						兼1
		生命倫理	1後	2									兼1
		心理学入門	1前	2									兼1
	社会科学系列	法学入門	1前	2									兼1
		日本国憲法	1後	2									兼1
		経済学入門	1後	2									兼1
		経営と文化	1前	2			1						兼1
		社会学入門	1後	2									兼1
		異文化コミュニケーション論	1前	2				1					兼1
		教育学	1前	2									兼1
	自然科学系列	数学の基礎	1前	2									兼1
		統計学入門	1後	2									兼1
		生物の化学	1後	2									兼1
		化学 I	1前	2				1					兼1
		化学 II	1後	2									兼1
		化学実験	1後	1									兼1
		生物学 I	1前	2									兼1
	生物学 II	1後	2									兼1	
	外国語科目	総合英語(前期)	1前	2				1					兼1
		総合英語(後期)	1後	2				1					兼1
		英会話初級(前期)	1前	2									兼1
		英会話初級(後期)	1後	2									兼1
		英語で読む健康科学	2前・後	2				1					兼1
		TOEIC英語	2前	2				1					兼1
		映像メディア英語	2前・後	2				1					兼1
		朝鮮韓国語初級(前期)	1前	2									兼1
		朝鮮韓国語初級(後期)	1後	2									兼1
		朝鮮韓国語中級(前期)	2前	2									兼1
		朝鮮韓国語中級(後)	2後	2									兼1
	健康管理科目	スポーツ理論	1前	2									兼1
		健康管理と栄養学 スポーツ実技	1後 1通	2 2									兼1 兼1
	情報処理科目	コンピュータ演習	1前	2									兼1
		情報処理応用演習	2後	1									兼1
		情報処理応用演習	2後	1									兼1
	教養演習科目	学生生活入門 I	1前	2									兼1
学生生活入門 II		1後	2				1					兼1	
地域協働論		1後	2				1					兼1	
キャリア支援科目	キャリアデザイン I	2後	2									兼1	
	キャリアデザイン II	3前	2				1					兼1	
	キャリアデザイン III	3後	2				1					兼1	
小計(46科目)	-	6	83	0	3	2	0	0	0	0	兼15		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合 教養 科目	基礎演習科目 基礎セミナー	1通	2			1						兼1	
	人文科学系列	歴史学	1前	2									兼1
		文学概論	1前	2									兼1
		文学特論	1後	2									兼1
		日本語表現	1前	2									兼1
		哲学	1前	2				1					兼1
		生命倫理	1後	2									兼1
		心理学入門	1前	2									兼1
	社会科学系列	法学入門	1前	2									兼1
		日本国憲法	1後	2									兼1
		経済学入門	1後	2									兼1
		経営と文化	1前	2				1					兼1
		社会学入門	1後	2									兼1
		異文化コミュニケーション論	1前	2					1				兼1
		教育学	1前	2									兼1
	自然科学系列	数学の基礎	1前	2									兼1
		統計学入門	1後	2									兼1
		生物の化学	1後	2					1				兼1
		化学 I	1前	2									兼1
		化学 II	1後	2						1			兼1
		化学実験	1後	1									兼1
		生物学 I	1前	2									兼1
	生物学 II	1後	2									兼1	
	外国語科目	総合英語(前期)	1前	2					1				兼1
		総合英語(後期)	1後	2					1				兼1
		英会話初級(前期)	1前	2					1				兼1
		英会話初級(後期)	1後	2									兼1
		英語で読む健康科学	2前・後	2					1				兼1
		TOEIC英語	2前	2					1				兼1
		映像メディア英語	2前・後	2					1				兼1
		朝鮮韓国語初級(前期)	1前	2									兼1
		朝鮮韓国語初級(後期)	1後	2									兼1
		朝鮮韓国語中級(前期)	2前	2									兼1
		朝鮮韓国語中級(後)	2後	2									兼1
	健康管理科目	スポーツ理論	1前	2									兼1
		健康管理と栄養学 スポーツ実技	1後 1通	2 2									兼1 兼1
	情報処理科目	コンピュータ演習	1前	2									兼1
		情報処理演習 I	2後	2									兼1
		情報処理演習 II	2後	2									兼1
	教養演習科目	学生生活入門 I	1前	2									兼1
学生生活入門 II		1後	2					1				兼1	
地域協働論		1後	2					1				兼1	
キャリア支援科目	キャリアデザイン I	2後	2									兼1	
	キャリアデザイン II	3前	2					1				兼1	
	キャリアデザイン III	3後	2					1				兼1	
小計(45科目)	-	6	83	0	3	3	0	0	0	0	兼14		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	プロジェクト実践科目	プロジェクト実践Ⅰ	2前	4			6	2	2				
		プロジェクト実践Ⅱ	3後	4			6	2	2				
		小計(2科目)	—	8	0	0	6	2	2	0	0		
	演習科目	コミュニティⅠ	1前	2			6	2	2				
		コミュニティⅡ	1後	2			6	2	2				
		コミュニティⅢ	2前	2			6	2	2				
		コミュニティⅣ	2後	2			6	2	2				
		コミュニティⅤ	3前	2			6	2	2				
		コミュニティⅥ	3後	2			6	2	2				
		小計(6科目)	—	12	0	0	6	2	2	0	0		
卒業研究	卒業研究	4通	0	4	0	6	2	2	0	0			
	小計(69科目)	—	22	116		7	3	2	0	0			
合計(115科目)			—	28	199	0	7	4	2			兼23	
卒業要件及び履修方法													
1. 総合教養科目 基礎演習科目2単位 一般教養科目:人文科学系列、社会科学系列及び自然科学系列から各4単位以上 外国語科目から総合英語(前期)及び総合英語(後期)で4単位以上 健康管理科目から2単位以上 情報処理科目から2単位以上 教養演習科目から2単位以上 合計24単位以上を取得すること 2. 専門科目 専門基礎科目から必修科目2単位を含む26単位以上 専門展開科目から40単位以上 ただし、食料生産、食品加工・流通、研究開発、食品ビジネス、店舗経営及び食生活と健康から各4単位以上を含む。 プロジェクト実践科目8単位以上 演習科目12単位以上 合計94単位以上を取得すること 総計124単位以上を取得すること。(履修科目の登録の上限:58単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	プロジェクト実践科目	プロジェクト実践Ⅰ	2前	4			6	2	2				
		プロジェクト実践Ⅱ	3後	4			6	2	2				
		小計(2科目)	—	8	0	0	6	2	2	0	0		
	演習科目	コミュニティⅠ	1前	2			6	2	2				
		コミュニティⅡ	1後	2			6	2	2				
		コミュニティⅢ	2前	2			6	2	2				
		コミュニティⅣ	2後	2			6	2	2				
		コミュニティⅤ	3前	2			6	2	2				
		コミュニティⅥ	3後	2			6	2	2				
		小計(6科目)	—	12	0	0	6	2	2	0	0		
卒業研究	卒業研究	4通	0	4	0	6	2	2	0	0			
	小計(69科目)	—	22	116		7	3	2	0	0			
合計(114科目)			—	28	199	0	7	4	2			兼26	
卒業要件及び履修方法													
1. 総合教養科目 基礎演習科目2単位 一般教養科目:人文科学系列、社会科学系列及び自然科学系列から各4単位以上 外国語科目から総合英語(前期)及び総合英語(後期)で4単位以上 健康管理科目から2単位以上 情報処理科目から2単位以上 教養演習科目から2単位以上 合計24単位以上を取得すること 2. 専門科目 専門基礎科目から必修科目2単位を含む26単位以上 専門展開科目から40単位以上 ただし、食料生産、食品加工・流通、研究開発、食品ビジネス、店舗経営及び食生活と健康から各4単位以上を含む。 プロジェクト実践科目8単位以上 演習科目12単位以上 合計94単位以上を取得すること 総計124単位以上を取得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))													

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教養科目	基礎演習科	基礎セミナー	1通	2		1						兼1	
	一般教養科目	人文科学系列	歴史学	1前	2								兼1
			文学概論	1前	2								兼1
			文学特論	1後	2								兼1
			日本語表現	1前	2								兼1
			哲学	1前	2		1						兼1
			生命倫理	1後	2								兼1
			心理学入門	1前	2								兼1
		社会科学系列	法学入門	1前	2								兼1
			日本国憲法	1後	2								兼1
			経済学入門	1後	2								兼1
			経営と文化	1前	2		1						兼1
			社会学入門	1後	2								兼1
			異文化コミュニケーション論	1後	2			1					兼1
			教育学	1前	2								兼1
	自然科学系列	数学の基礎	1前	2								兼1	
		統計学入門	1後	2								兼1	
		生物の化学	1後	2								兼1	
		化学I	1前	2								兼1	
		化学II	1後	2		1						兼1	
		化学実験	1後	1								兼1	
		生物学I	1前	2								兼1	
		生物学II	1後	2								兼1	
	外国語科目	総合英語(前期)	1前	2			1						兼1
		総合英語(後期)	1後	2			1						兼1
		英会話初級(前期)	1前	2									兼1
		英会話初級(後期)	1後	2									兼1
		英語で読む健康科学	2前・後	2			1						兼1
		TOEIC英語	2前	2			1						兼1
		映像メディア英語	2前・後	2			1						兼1
		朝鮮韓国語初級(前期)	1前	2									兼1
		朝鮮韓国語初級(後期)	1後	2									兼1
	朝鮮韓国語中級(前期)	2前	2									兼1	
	朝鮮韓国語中級(後)	2後	2									兼1	
	健康管理科目	スポーツ理論	1前	2									兼1
		健康管理と栄養学	1後	2									兼1
		スポーツ実技	1通	2									兼1
	情報処理科目	コンピュータ演習	1前	2									兼1
		情報処理応用演習A	2後	1									兼1
		情報処理応用演習B	2後	1									兼1
	教養演習科目	学生生活入門I	1前	2									兼1
		学生生活入門II	1後	2			1						兼1
		地域協働論	1後	2			1						兼1
	キャリア支援科目	キャリアデザインI	2後	2									兼1
		キャリアデザインII	3前	2			1						兼1
		キャリアデザインIII	3後	2			1						兼1
小計(46科目)		-	6	83	0	3	2	0	0	0	兼14		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教養科目	基礎演習科												
	一般教養科目	人文科学系列											
			社会科学系列										
				自然科学系列									
		外国語科目											
健康管理科目													
情報処理科目													
教養演習科目													
キャリア支援科目													
小計(46科目)													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	専門基礎科目	食と幸せ	1前	2		1						
		食のための生物学	1前		2		1					
		食のための化学	1前		2		1					
		食品学総論	1前		2			1				
		食品学実験	1後		1			1				
		基礎栄養学	1後		2		1					
		食の安全	1後		2			1				
		調理学入門	1後		2				1			
		製菓入門	1後		2				1			
		おいしさの科学	1後		2		1					
		日本の伝統・食文化	1後		2				1			
		世界の食文化	1後		2				1			
		食料生産学入門	1後		2				1			
		食品加工・流通学入門	1前		2		1					
		食品研究開発入門	1後		2		1					
食品ビジネス学入門	1後		2		1							
経営学入門	1前		2							兼1		
食生活と健康入門	1後		2		1							
小計(18科目)		2	33	0	5	3	2	0	0	兼1		
専門展開科目	食料生産	食糧経済学	2-3後		2			1				
		食資源生産学	2-3前		2			1				
		食料生産システム	2-3後		2			1				
		生産管理論	2-3前		2		1					
		食と地域の実践演習	2-3通		2		2					
	小計(5科目)	—	0	10	0	3	1	0	0	0		
	食品加工・流通	食品加工学実践演習	2-3前		2		1					
		食品製造学	2-3前		2		1					
		食品衛生学	2-3前		2		1					
		HACCP論	2-3後		2			1				
		食品流通論	2-3前		2		1					
		調理学実習Ⅰ	2-3前		1				1			
		調理学実習Ⅱ	2-3後		1				1			
		食品デザイン論	2-3後		2		1					
	小計(8科目)	—	0	14		3	0	2	0	0		
	研究開発	食品開発論	2-3後		2		1					
		食品物性論	2-3前		2		1					
		分析化学	2-3後		2			1				
		食品官能評価論	2-3前		2		1					
		食品官能評価実習	2-3後		1		1					
		スポーツ栄養	2-3後		2						兼1	
食品バイオテクノロジー		4前		2			1					
食品バイオテクノロジー	4後		1			1						
小計(8科目)	—	0	14	0	3	1	0	0	0	兼1		
食品ビジネス	食の情報学	2-3前		2						兼1		
	ビジネスデータ分析演習	2-3後		2						兼1		
	食品産業論	2-3前		2		1						
	消費行動論	2-3後		2						兼1		
	ビジネス心理学	2-3前		2						兼1		
	食品マーケティング実	3-4後		2		1						
	食品関連法規	4後		2		1						
小計(7科目)	—	0	14	0	3	0	0	0	0	兼3		
専門展開科目	店舗経営	簿記会計入門	2-3後		2						兼1	
		起業入門	2-3前		2						兼1	
		6次産業化論Ⅰ	2-3後		2		1					
		6次産業化論Ⅱ	3-4後		2		1					
		店舗経営論	3-4後		2						兼1	
		店舗経営実践演習	4後		2		1					
	小計(6科目)	—	0	12	0	2	0	0	0	0	兼3	
	食生活と健康	食生活・食文化論	2-3前		2							兼1
		機能栄養学	2-3前		2		1					
		公衆栄養学	2-3前		2				1			
		ライフステージ栄養学	2-3前		2				1			
		介護の食事実習	2-3後		1				1			
医薬品・サプリメント論		2-3後		2			1					
フードスペシャリスト論	4前		2		1							
フードコーディネーター論	4前		2							兼1		
小計(8科目)	—	0	15	0	2	1	2	0	0	兼2		
小計(42科目)	—	0	79	0	7	3	2	0	0	兼9		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	専門基礎科目											
専門展開科目	食料生産											
	食品加工・流通											
	研究開発											
	食品ビジネス											
店舗経営												
食生活と健康												
小計(42科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	プロジェクト実践科目	プロジェクト実践Ⅰ	2前	4			6	2	2			
		プロジェクト実践Ⅱ	3後	4			6	2	2			
		小計(2科目)	—	8	0	0	6	2	2	0	0	
	演習科目	コミュニティⅠ	1前	2			6	2	2			
		コミュニティⅡ	1後	2			6	2	2			
		コミュニティⅢ	2前	2			6	2	2			
		コミュニティⅣ	2後	2			6	2	2			
		コミュニティⅤ	3前	2			6	2	2			
		コミュニティⅥ	3後	2			6	2	2			
		小計(6科目)	—	12	0	0	6	2	2	0	0	
卒業研究	卒業研究	4通	0	4	0	6	2	2	0	0		
	小計(69科目)	—	22	116		7	3	2	0	0		
合計(115科目)			—	28	199	0	7	4	2		兼23	
卒業要件及び履修方法												
<p>1. 総合教養科目 基礎演習科目2単位 一般教養科目:人文科学系列、社会科学系列及び自然科学系列から各4単位以上 外国語科目から総合英語(前期)及び総合英語(後期)で4単位以上 健康管理科目から2単位以上 情報処理科目から2単位以上 教養演習科目から2単位以上 合計24単位以上を取得すること</p> <p>2. 専門科目 専門基礎科目から必修科目2単位を含む26単位以上 専門展開科目から40単位以上 ただし、食料生産、食品加工・流通、研究開発、食品ビジネス、店舗経営及び食生活と健康から各4単位以上を含む。 プロジェクト実践科目8単位以上 演習科目12単位以上 合計94単位以上を取得すること 総計124単位以上を取得すること。(履修科目の登録の上限:58単位(年間))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	プロジェクト実践科目											
		小計(科目)	—									
	演習科目											
	卒業研究											
	小計(科目)	—										
合計(〇科目)			—									
卒業要件及び履修方法												
<p>1. 総合教養科目 基礎演習科目2単位 一般教養科目:人文科学系列、社会科学系列及び自然科学系列から各4単位以上 外国語科目から総合英語(前期)及び総合英語(後期)で4単位以上 健康管理科目から2単位以上 情報処理科目から2単位以上 教養演習科目から2単位以上 合計24単位以上を取得すること</p> <p>2. 専門科目 専門基礎科目から必修科目2単位を含む26単位以上 専門展開科目から40単位以上 ただし、食料生産、食品加工・流通、研究開発、食品ビジネス、店舗経営及び食生活と健康から各4単位以上を含む。 プロジェクト実践科目8単位以上 演習科目12単位以上 合計94単位以上を取得すること 総計124単位以上を取得すること。(履修科目の登録の上限:58単位(年間))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に「(新)又は(旧)」と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

【令和5年度】

特になし。

【令和6年度】

数理・データサイエンス・AIカリキュラムに対応するため、全学的に情報処理科目の再編成を行ったため、旧来の3科目「コンピュータ演習」「情報処理応用演習A」「情報処理応用演習B」を廃止としたが、同等の内容を含んだ内容で「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の2科目を新科目として実施。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	103 科目	0 科目	115 科目	12 科目 [0]	102 科目 [Δ1]	科目 [0]	114 科目 [0]	※設置計画時より1科目減少(コンピューター演習)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	法学入門	2	1	一般	選択	履修者減少のため、隔年開講へ変更
2	経済学入門	2	1	一般	選択	履修者減少のため、隔年開講へ変更
3	食料生産システム	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
4	生産管理論	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
5	食と地域の実践演習	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
6	食品加工学実践演習	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
7	食品衛生学	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
8	HACCP論	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
9	調理学実習Ⅱ	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
10	食品デザイン論	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
11	食品物性論	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
12	スポーツ栄養	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
13	食の情報学	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
14	ビジネスデータ分析演習	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
15	起業入門	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
16	ライフステージ栄養学	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
17	食品官能評価論	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
18	食品官能評価実習	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
19	機能栄養学	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
20	医薬品・サプリメント論	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講
21	介護の食事実習	2	2・3	専門	選択	翌年度開講のため今年度不開講

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	コンピュータ演習	2	1	一般	選択	数理・データサイエンス・AIモデルカリキュラム対応のため一部カリキュラム変更
2	情報処理応用演習A	1	2	一般	選択	数理・データサイエンス・AIモデルカリキュラム対応のため一部カリキュラム変更
3	情報処理応用演習B	1	2	一般	選択	数理・データサイエンス・AIモデルカリキュラム対応のため一部カリキュラム変更

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

2・3年生配当科目のうち、今年度不開講扱いとした科目は、カリキュラムポリシー並びにカリキュラムモデルを学生にガイダンス等で十分に説明した上で、年間履修上限単位を考慮し選択科目の一部を来年度開講としたため、学生の履修への影響はない。

また、廃止科目については、数理・データサイエンス・AIカリキュラムに対応するため、全学的に情報処理科目の再編成を行ったため、旧来の3科目「コンピュータ演習」「情報処理応用演習A」「情報処理応用演習B」を廃止したが、同等の内容を含んだ内容で「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」の2科目を新科目として実施しているため、これも学生の履修には影響していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{24}{115} = \boxed{20.86}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	37,365㎡	0㎡	0㎡	37,365㎡				
	運動場用地	25,400㎡	0㎡	0㎡	25,400㎡				
	小 計	62,765㎡	0㎡	0㎡	62,765㎡				
	そ の 他	1,372㎡	0㎡	0㎡	1,372㎡				
	合 計	64,137㎡	0㎡	0㎡	64,137㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		24,753㎡ (26,628㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	24,753㎡ (26,628㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	28室	12室	35室	6室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	栄養学部 食創造学科			13 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	栄養学部 食創造学科	130,296 [33,075] 128,985 [33,032]	2,043 [484] (2,043 [484])	5 [5] (5 [5])	1,423 (1,432)	9 (9)	- (-)		
	計	130,296 [33,075] 128,985 [33,032]	2,043 [484] 2,043 [484]	5 [5] (5 [5])	1,423 (1,432)	9 (9)	- (-)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	1,198㎡	119	134,000						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	1,743.63㎡	至誠館							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出の際に学生納付金の内、初年度納入の「入学金」ならびに「入試検定料」を含んでいなかったため修正(5) 授業料に変更があったため修正(6)
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	500千円	500千円	500千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	3,000千円	3,000千円	3,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		994.5千円 1274.5千円 1280.5千円	994.5千円 1000.5千円	994.5千円 1000.5千円	994.5千円 1000.5千円			千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	甲子園大学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
栄養学部	4	200	0	800	-	-	-	-	昭和42年	宝塚市紅葉ガ丘10番1号	
栄養学科	4	120	0	480	学士(栄養学)	0.24	-	-	昭和42年	同上	
食創造学科	4	80	0	160	学士(食創造学)	0.20	-	-	令和5年	同上	
フードデザイン学科	4	-	-	160	学士(フードデザイン学)	0.11	-	-			令和5年度入学生より学生募集停止
心理学部	4	60	0	240	-	-	-	-	平成23年	宝塚市紅葉ガ丘10番1号	
現代応用心理学科	4	60	0	240	学士(心理学)	0.65	-	-	平成23年	同上	
大学全体	4	260	0	1040	-	0.31	-	-	昭和42年	宝塚市紅葉ガ丘10番1号	
					-	-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<栄養学部 食創造学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】		【令和6年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等	氏名(年齢)<就任(予定)年月>保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	大橋 哲也 (65) <令和5年4月> 博士(工学)				大橋 哲也 (65) <令和5年4月> 博士(工学)			大橋 哲也 (66) <令和5年4月> 博士(工学)
		基礎セミナー 地域協働論 食品研究開発入門 食と地域の実践演習 食品加工学実践演習 食品製造学 食品デザイン論 食品物性論 フードシステム論 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究				基礎セミナー 地域協働論 食品研究開発入門 食と地域の実践演習 食品加工学実践演習 食品製造学 食品デザイン論 食品物性論 フードシステム論 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究			基礎セミナー 地域協働論 食品研究開発入門 食と地域の実践演習 食品加工学実践演習 食品製造学 食品デザイン論 食品物性論 フードシステム論 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究
専	教授	寺嶋 昌代 (66) <令和5年4月> 博士(理学)				寺嶋 昌代 (66) <令和5年4月> 博士(理学)			寺嶋 昌代 (67) <令和5年4月> 博士(理学)
		化学Ⅱ 食のための化学 基礎栄養学 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究				化学Ⅱ 食のための化学 基礎栄養学 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究			化学Ⅱ 食のための化学 基礎栄養学 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究
専	教授	伏木 亨 (70) <令和5年4月> 農学博士				伏木 亨 (70) <令和5年4月> 農学博士			伏木 亨 (71) <令和5年4月> 農学博士
		食と幸せ おいしさの科学 店舗経営実践演習				食と幸せ おいしさの科学 店舗経営実践演習			食と幸せ おいしさの科学 店舗経営実践演習
専	教授	盛本 浩二 (54) <令和5年4月> 博士(医学)				盛本 浩二 (54) <令和5年4月> 博士(医学)			
		食品衛生学 食品官能評価論 食品官能評価実習 食品関連法規 機能栄養学 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究				食品衛生学 食品官能評価論 食品官能評価実習 食品関連法規 機能栄養学 新入入門 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究			
専	教授	木本 実 (70) <令和5年4月> 修士(農学)				木本 実 (70) <令和5年4月> 修士(農学)			木本 実 (71) <令和5年4月> 修士(農学)
		経営と文化 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 食と地域の実践演習 食品産業論 6次産業化論Ⅰ 6次産業化論Ⅱ プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究				経営と文化 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 食と地域の実践演習 食品産業論 6次産業化論Ⅰ 6次産業化論Ⅱ プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究			経営と文化 新入入門 キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 食と地域の実践演習 食品産業論 6次産業化論Ⅰ 6次産業化論Ⅱ プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究
専	教授	西田 昌司 (68) <令和5年4月> 医学博士				西田 昌司 (68) <令和5年4月> 医学博士			西田 昌司 (69) <令和5年4月> 医学博士
		食のための生物学 食生活と健康入門 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究				食のための生物学 食生活と健康入門 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究			食のための生物学 食生活と健康入門 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	釜阪 寛 (58) <令和5年4月> 博士(農学)					専	教授	釜阪 寛 (58) <令和5年4月> 博士(農学)		専	教授	釜阪 寛 (59) <令和5年4月> 博士(農学)	食品加工・流通学入門 食品ビジネス学入門 生産管理論 食品流通論 食品開発論 食品マーケティング実践演習 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究	
専	准教授	上村 健二 (59) <令和5年4月> 文学修士					専	准教授	上村 健二 (59) <令和5年4月> 文学修士		専	准教授	上村 健二 (60) <令和5年4月> 文学修士	哲学 総合英語(前期) 総合英語(後期) 英語で読む健康科学 映像メディア英語 学生生活入門Ⅱ	
専	准教授	瀬尾 誠 (47) <令和5年4月> 博士(農学)					専	准教授	瀬尾 誠 (48) <令和5年4月> 博士(農学)		兼担	准教授	瀬尾 誠 (49) <令和5年4月> 博士(農学)	食の安全 分析化学 食品分析/品質検査 食品分析/品質検査-実験 医薬品・化粧品論 プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究	
専	准教授	松岡 大介 (51) <令和5年4月> 博士(農学)					専	准教授	松岡 大介 (51) <令和5年4月> 博士(農学)		専	准教授	松岡 大介 (52) <令和5年4月> 博士(農学)	食品学総論 食品学実験 食料生産学入門 食糧経済学 食資源生産学 食料生産システム プロジェクト実践Ⅰ プロジェクト実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究	
専	准教授	森田 久仁子 (52) <令和5年4月> 博士(人文科学)					専	准教授	森田 久仁子 (52) <令和5年4月> 博士(人文科学)		専	准教授	森田 久仁子 (53) <令和5年4月> 博士(人文科学)	異文化コミュニケーション論 TOEIC英語 世界の食文化	
専	講師	梅本 真美 (52) <令和5年4月> 修士(経済学)													
													専	准教授	佐藤 典子 (57) <令和6年4月> 博士(学術) ※令和6年4月1日付異動 生物の化学 製菓入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)		
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
専任	講師	黒田 久恵 (62) <令和5年4月> 修士(学術)					専任	講師	黒田 久恵 (63) <令和5年4月> 修士(学術)			専任	講師	黒田 久恵 (64) <令和5年4月> 修士(学術)			専任	講師	黒田 久恵 (64) <令和5年4月> 修士(学術)
		調理学入門 調理学実習Ⅰ 公衆栄養学 フーズ栄養学 フーズ外実践Ⅰ フーズ外実践Ⅱ コミュニティⅠ コミュニティⅡ コミュニティⅢ コミュニティⅣ コミュニティⅤ コミュニティⅥ 卒業研究																	
兼任	教授	佐々木 裕子 (57) <令和8年4月> 博士(家政学)					兼任	教授	佐々木 裕子 (58) <令和8年4月> 博士(家政学)			兼任	教授	佐々木 裕子 (59) <令和8年4月> 博士(家政学)			兼任	教授	佐々木 裕子 (59) <令和8年4月> 博士(家政学)
		フードコーディネート論																	
兼任	教授	樋口 勝一 (53) <令和6年4月> 博士(工学)					兼任	教授	樋口 勝一 (54) <令和6年4月> 博士(工学)			兼任	教授	樋口 勝一 (55) <令和6年4月> 博士(工学)			兼任	教授	樋口 勝一 (55) <令和6年4月> 博士(工学)
		簿記会計入門																	
兼任	准教授	谷澤 容子 (61) <令和6年4月> 博士(学術)					兼任	准教授	谷澤 容子 (62) <令和6年4月> 博士(学術)			兼任	准教授	谷澤 容子 (63) <令和6年4月> 博士(学術)			兼任	准教授	谷澤 容子 (63) <令和6年4月> 博士(学術)
		食生活・食文化論																	食生活・食文化論 日本の伝統・食文化
兼任	准教授	吉田 千里 (54) <令和6年4月> 博士(学術)					兼任	准教授	吉田 千里 (55) <令和6年4月> 博士(学術)			兼任	准教授	吉田 千里 (55) <令和6年4月> 博士(学術)			兼任	准教授	吉田 千里 (55) <令和6年4月> 博士(学術)
		ビジネス心理学																	
兼任	講師	浅野 真理子 (42) <令和6年9月> 修士(学術)					兼任	講師	浅野 真理子 (43) <令和6年9月> 修士(学術)			兼任	講師	浅野 真理子 (44) <令和6年9月> 修士(学術)			兼任	講師	浅野 真理子 (44) <令和6年9月> 修士(学術)
		スポーツ栄養																	
兼任	講師	破田野 智美 (46) <令和6年4月> 博士(文学)					兼任	講師	破田野 智美 (47) <令和6年4月> 博士(文学)			兼任	講師	破田野 智美 (48) <令和6年4月> 博士(文学)			兼任	講師	破田野 智美 (48) <令和6年4月> 博士(文学)
		ビジネス分析演習																	
兼任	講師	市川 祥子 (48) <令和6年4月> 博士(学術)					兼任	講師	市川 祥子 (49) <令和6年4月> 博士(学術)			兼任	講師	市川 祥子 (50) <令和6年4月> 博士(学術)			兼任	講師	市川 祥子 (50) <令和6年4月> 博士(学術)
		消費行動論																	消費行動論 ビジネス心理学
兼任	講師	中野 久美子 (59) <令和6年4月> 博士(農学)					兼任	講師	中野 久美子 (60) <令和6年4月> 博士(農学)			兼任	講師	中野 久美子 (60) <令和6年4月> 博士(農学)			兼任	講師	中野 久美子 (60) <令和6年4月> 博士(農学)
		食の情報学																	
兼任	講師	紙園 景子 (47) <令和6年4月> 博士(工学)					兼任	講師	紙園 景子 (48) <令和6年4月> 博士(工学)			兼任	講師	紙園 景子 (48) <令和6年4月> 博士(工学)			兼任	講師	紙園 景子 (48) <令和6年4月> 博士(工学)
		起業入門																	
兼任	講師	岡田 恵美 (49) <令和5年4月> 修士(経営管理)					兼任	講師	岡田 恵美 (50) <令和5年4月> 修士(経営管理)			兼任	講師	岡田 恵美 (50) <令和5年4月> 修士(経営管理)			兼任	講師	岡田 恵美 (50) <令和5年4月> 修士(経営管理)
		経営学入門																	
兼任	講師	高橋 拓児 (54) <令和7年4月> 博士(食農学)					兼任	講師	高橋 拓児 (55) <令和7年4月> 博士(食農学)			兼任	講師	高橋 拓児 (56) <令和7年4月> 博士(食農学)			兼任	講師	高橋 拓児 (56) <令和7年4月> 博士(食農学)
		店舗経営論																	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、奨専、実(研)、奨)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

--

【令和5年度】

専任教員（講師）が1名退職、後任を専任教員（助教）1名を任用し補充、「製菓入門」を除いた科目を、AC教員審査後に担当予定。
「製菓入門」については、同学科内の専任教員（教授）へと担当変更の予定であり、AC教員審査後に開講予定としている。

【令和6年度】

専任教員（准教授）が1名学科配置換えで他学科へ異動（退職）、担当科目は一部を兼任として引き続き担当し、他科目を他の専任教員が担当する。
専任教員（教授）が一身上の都合により退職。担当科目は、専任教員が引き継いで開講。
専任教員（准教授）が他学科より、異動（着任）、令和5年度に退職の専任教員（講師）の担当予定科目を担当。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
7 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	4	2	0	13	0	6	4	1	0	11	0
(7)	(4)	(1)	(1)	(13)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	4	1	0	11	0	6	4	1	0	11	0
[Δ1]	[0]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[0]	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
専任教員定年65 役職教員定年70 歳	4 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{13} = \boxed{84.61} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{11} = \boxed{36.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	梅本 真美	R5.3	選択	製菓入門	①	R5.3.31付け一身上の都合のため辞任(5)			
				選択	日本の伝統・食文化	②				
				選択	HACCP論	③				
				選択	調理学実習Ⅱ	③				
				選択	介護の食事実習	③				
				必修	プロジェクト実践Ⅰ	①				
				必修	プロジェクト実践Ⅱ	①				
				必修	コミュニティⅠ	①				
				必修	コミュニティⅡ	①				
				必修	コミュニティⅢ	①				
				必修	コミュニティⅣ	①				
				必修	コミュニティⅤ	①				
必修	コミュニティⅥ	①								
選択	卒業研究	①								
2	教授	盛本 浩二	R6.3	選択	食品衛生学	③	R6.3.31付け一身上の都合のため辞任(6)			
				選択	食品官能評価論	②				
				選択	食品官能評価実習	①				
				選択	食品関連法規	①				
				選択	機能栄養学	①				
				必修	プロジェクト実践Ⅰ	①				
				必修	プロジェクト実践Ⅱ	①				
				必修	コミュニティⅠ	①				
				必修	コミュニティⅡ	①				
				必修	コミュニティⅢ	①				
				必修	コミュニティⅣ	①				
				必修	コミュニティⅤ	①				
必修	コミュニティⅥ	①								
選択	卒業研究	①								
3	准教授	瀬尾 誠	R6.3	選択	食の安全	②	大学内での人事配置変更のため、 食創造学科から別学科へ異動(6)			
				選択	分析化学	①				
				選択	食品パッケージ/ロジ-	②				
				選択	食品パッケージ/ロジ-実験	②				
				選択	医薬品・サプリメント論	②				
				必修	プロジェクト実践Ⅰ	①				
				必修	プロジェクト実践Ⅱ	①				
				必修	コミュニティⅠ	①				
				必修	コミュニティⅡ	①				
				必修	コミュニティⅢ	①				
				必修	コミュニティⅣ	①				
				必修	コミュニティⅤ	①				
必修	コミュニティⅥ	①								
選択	卒業研究	①								
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
3	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	6	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	14	科目	計	6	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)										
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
3	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	6	科目	選択	6	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	14	科目	計	6	科目	計	4	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{13} = 23.07\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
0	人	必修	0	科目	必修		科目	必修		科目	必修		科目
		選択	0	科目	選択		科目	選択		科目	選択		科目
		自由	0	科目	自由		科目	自由		科目	自由		科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の辞任や配置転換により変更が発生した部分については、他の専任教員(一部は兼任・兼任教員)による手配を実施し、教育の質保証の観点から学生の履修への影響が出ないように科目の実施を行っている。今年度、一部不開講とした科目についても翌年度開講するため、履修についての影響はない旨をガイダンス等で周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	【届出】 遵守事項 現時点で定年を延長している教員は4名。 1名は本年4月より学長に就任。1名は一般企業の社長経験者であり、食品産業論・6次産業化論を担当。1名は一般企業の理事経験者であり、食品製造学を担当。1名は医師の資格を有し、医学的見地から食品の効能を教授でき、食生活と健康入門を担当している。 以上のように4名とも余人に代わがたく、代替教員を探しているが現時点ではまだ適当な候補者がいない状況である。(5)(6)	履行中 完成年度を迎えるまでに定年を延長する教員は5名になるため、年齢構成の適正化に向けて、引き続き本学が必要とする人材の確保に努めていく。 具体的には会社経営者や食品開発責任者等の役職を経験した人材の確保に努めていく。(5)(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (栄養学部食創造学科)	【A C】 指摘事項 (改善) 令和5年度の入学者状況を受け、大学全体として令和5年度はオープンキャンパスの実施回数を8回から10回に増やした。複数回大学に本校してもらえよう、参加者1組ごとに丁寧な説明と対応をするよう心掛けた。また食創造学科の学びについて知ってもらえよう、高校訪問を行った。高校校内ガイダンスにも積極的に参加し、学科のアピールを行った。 広報活動の強化として、SNSの利用についてこれまでのインスタグラム、X、フェイスブックに加え、TikTokを利用した情報発信を開始した。 教育内容の充実を図るため、全学生との昼食会を学長が開催し、授業や学校生活に関するニーズの調査を行った。また、令和5年度前期の中間で満足度アンケートを実施し、前期の後半の授業等に要望等を反映することで学生満足度を高めた。そして、地域との連携に基づく教育研究活動を積極的に推進し、地域のイベントの運営に学生が参画し、学生中心で考案したレシピによりレトルトカレーを制作するなどの活動内容をホームページなどで広く周知することにより、食創造学科での学びに興味を持ってもらえるよう情報発信を行った。 以上の通り、収容定員の未充足を改善できるよう各種の取組みを実施したが十分な成果を得ることができず、結果として令和6年度の入学者は令和5年度を下回ることとなったため、継続して広報、学生募集方法の見直しを行い定員未充足の改善に努める。	履行中 教育内容の充実を図るため、令和6年度から一般社団法人これからの時代の・飲食店マネジメント協会の代表理事がアクティベーションプロデューサーとして就任した。そして、100名の食のプロが集い食創造学科を後押しする応援プロジェクト【FUTURE FOR 100PROS SUPPORT】をスタートさせた。これは、食創造学科の授業「プロジェクト実践」を通じて、現在活躍中の食ビジネスのプロ達と出会い、食領域の幅広さや自身の可能性に気づいてもらう事ができる機会を創出する事を目的とした取り組みである。そこでは「大学の専門分野と関連する食ビジネスの専門家の講義や共同プロジェクトの開催」や「食ビジネスの幅広さや可能性について動機付けできる機会の創出」など、様々な体験型のプロジェクトを実施していく。 このような授業を通じ、学生の満足度を上げるとともに、これから進路を検討する高校生等に対しても、食領域で活躍する機会を幅広く、たくさんの選択肢があることを知ってもらおう。そして食創造学科での学びに興味を持ち、進路選択につながるような取り組みを行う。 広報については、令和6年度より高校生の身近なツールであるLINEによる情報発信を新たに追加し実施している。また、遠隔地からの受験生に対し、無料宿泊体験や一人暮らし説明会を実施することで、大学のイベントに参加しやすくし、Webにより来校せずに受験資格を取得できるなど、受験しやすい入試を設定している。その他、インターネットを通じたプレスリリースを活用することで大学の情報を広く発信する取り組みを行っている。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<栄養学部 食創造学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「全学FD委員会」ならびに「全学SD委員会」を設置 ※規程資料を添付

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和6年4月18日にFD委員会およびSD委員会第一回が開催されており、委員すべてが参加している。

c 委員会の審議事項等

SD委員会においては、第1回の研修テーマ・内容について確認、審議され、承認された。

FD委員会についても同様に第1回の研修テーマについての承認を行った。加えて教員による公開授業評価について審議された。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD・SD合同研修会（全教員・職員対象）：令和6年5月8日開催
- ・ 令和6年度広報・学生募集のための共通認識の構築のために（全教員・職員対象）：令和6年5月8日開催
- ・ 令和6年度募集活動のための各学科の特徴等について（全教員・職員対象）：令和6年5月8日開催

b 実施方法

- ・ 講義室での講義・説明会形式（オンデマンド同時配信）にて実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 開催日時に校務等がある教員・職員を除いて当日参加、参加ができなかった場合はオンデマンド配信の視聴による事後の参加となっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ FD委員会により審議し検討される、教員による公開授業評価や、毎年実施する授業評価アンケートの自己分析を行い、授業方法等についての見直しなどを教務系部署を中心に検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期・後期の各授業期間中に学生ポータルサイトにて実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 大学ポータルサイト内のページにて集計結果を公表するとともに、教員・学生は個々の集約結果が閲覧可能。また、年度末にはHP上（学内専用）において公開している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食の諸問題の解決にも寄与し得るレベルの高い、食を創るプロフェッショナルを養成するため、初年度の講義には、従来の食・栄養だけでなく最新の食を取り巻く諸環境を知るべく、フィールドワークや外部講師の積極的な招聘を行った。

開設2年目の令和6年度からは、一般社団法人これからの時代の・飲食店マネジメント協会の代表理事がアクティベーションプロデューサーとして就任した。そして、100名の食のプロが集い食創造学科を後押しする応援プロジェクト【FUTURE FOR 100PROS SUPPORT】をスタートさせた。これは、食創造学科の授業「プロジェクト実践」を通じて、現在活躍中の食ビジネスのプロ達と出会い、食領域の幅広さや自身の可能性に気づいてもらう事ができる機会を創出する事を目的とした取り組みである。そこでは「大学の専門分野と関連する食ビジネスの専門家の講義や合同プロジェクトの開催」や「食ビジネスの幅広さや可能性について動機付けできる機会の創出」など、様々な体験型のプロジェクトを実施していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和5年度自己点検・評価書については、令和6年3月にホームページ上に公表
- ・令和6年度自己点検・評価書については、令和7年3月に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受審したため、当面受審予定なし。また、評価時に「改善を要する点」として、提言を受けている項目について、令和8年に改善報告書の提出が必要となるため、その改善の具体策を計画・実行している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。